

おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー部報第 14 号 (9 月 5 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y1 鶴工に敗北 守れない山東

9 月 1 日 (土) 天童の県総合運動場サッカー・ラグビー場のラグビー場にて Y1 鶴工戦が行われました。サッカー場ではプリンスリーグ東北が行われており、2 面で高校サッカーが繰り広げられる。日差しが強く、帽子を持ってこなかったことを後悔する。第 1 試合の山形商業一上山明新館戦では前半飲水タイムを取らなかったものの、後半は主審の判断で取る¹。第 2 試合の鶴岡工業一山形東戦でも、前半は飲水タイムあり。残暑厳しい中での試合。山東としては、自力残留のため、何とか 5 位以内に入りたところ。7 位 8 位が自動降格のため、6 位だと残留なのですが、プリンスから県リーグに降格チームがあると、6 位も降格してしまう。リーグ戦開始前の段階では 5 位にも降格の可能性があったのですが、プリンス 1 部に在籍のモンテユースが早くも残留を決めたため、5 位はセーフ。プリンスからの降格がなく、Y1 優勝チームがプリンス昇格戦に勝ち昇格を決めると、7 位も残留するのですが、**ともかく、自力で 5 位をつかみに行きたいところ。とすれば、鶴岡工業にどうしても勝ちたい、となる。**

布陣は前節と同じメンバーでの 4-4-2 (1-4-4-2) の布陣。序盤、一進一退ながら、守備の不安定な山形東が押され気味か。開始 5 分ほどで、軽い対応をした右 SB が簡単に抜かれ、カバーに入った CB も体勢を崩してまともな対応がとれず、ゴール前で簡単にシュートを打たせてしまい、失点。最近、何回も見ていますが、全く粘り強い対応が取れず、守備が機能しない山形東。その後、鶴工も山東の守備の不安定さを突けず、0-1 のまま時間が過ぎる。山東は、右 SH がスピードを活かしてゴールに迫るものの、中央・左サイドからの攻撃には迫力がない。前半終了間際、FK を得る山東。チーム一の長身 CB イクトが最終ラインに残っているのを見て、「イクト、負けてんだから (ゴール前に) 行け」と告げる。すると、左斜め 45 度の角度からクリロンが放ったボールは、ファーサイドのイクトの頭にピッタリ合い、イクトのスリップヘッド (ボールを滑らすヘディング) シュートが決まり、1-1 に。**イクトはフィジカルの能力が高いだけに、自信を持って落ち着いた**

¹ 前半開始前、東海大山形 3 年生の S 君 (主審) から「飲水タイム取りますか?」と聞かれ、「いない、いない。高校生は自分でプレーイングタイム中に飲水すればいいんだから。」と答えたのですが、後半は隣のプリンスを参考に主審が判断したようです。私は、高校生の飲水タイム取得には、先の発言の通り、基本反対です。

て自分のプレーに徹すれば、これくらいの活躍はできるはずの選手。隣の志村顧問が「前半のうちに同点に追いついたのは大きかったですね」と言うので、「まだ、わかんないよ」と不敵に笑って見せる。心の中では「アディショナルタイム中に逆転ゴール決めちゃうかもよ（決められるんじゃないくてね）」と都合のいいこと考えていたのですが、それを口にする間もなく再開されたボールは、山東にわたり、惜しいシュートにつながる。「ほら～」と志村顧問にしたり顔をするも、結局スコアが動かないままハーフタイムへ。

後半は硬さが取れてより攻撃的になれるかと思いきや、鶴岡工業が地力を発揮する展開。山東は守備での粘りがやはり効かず、呆気ない失点を重ねる。最悪なのは4点目。CBの間に入られた相手選手の動きに全く反応できず、独走を許し、簡単に4点目を献上する。攻撃では前半複数回あった決定機がほとんどなく、**攻守にわたり完敗の後半。**同じメンバーで戦わせている監督の起用にも、疑問符が付きつけられたであろう、この展開。根本的解決は一人ひとりの守備力（対人の強さということも含まれますがどこが急所か見抜くサッカー解釈力）を上げることなのですが、誰をどこでどのようなシステムで（どのようなコンセプトの下）起用するか、という監督サイドの工夫が不足していることに痛感させられました。

今週末は地区新人となります。**いろいろいじって**、違う戦いを演じたいと思います。応援よろしくをお願いします。

9月8日（土）地区新人 VS 天童高校 9:30～ @山形中央G

天童に勝つと

VS 山形中央と山形明正の勝者 14:10～ @同上

山形中央高校からの指示なのですが、保護者の方の高校敷地内の駐車はご遠慮下さいとのことです。グラウンド周辺道路の駐車も近所の方のご迷惑になりますので、山形中央高校付近で土日駐車できる場所（公共施設の駐車場等）への駐車をお願いします。

山東サッカー部 雑感

紙幅に余裕がありますので、とりとめもないことをコラム風を書いてみたいと思います。私、顧問今野は山形東高校に赴任して7年目になります。この7年、山東サッカー部の選手と付き合い、どうしてなのだろう、と首を傾げていることがあります。上の「守れない」という話と関わってきますが、山東サッカー部にはなぜか「攻撃したい」「攻撃的なポジションをやってきた」という選手が非常に多く、「GKをやってきた」とか「CBだった」「CBをやりたい」という選手がとても少ないのです。一学年にGKが複数いた学年はたった一つです（多田の学年のヤスとマサ）。SBは多少いますが、守ること（相手のプレーの先を読み封じること）の面白みが堪能できるCB経験者は、非常に少ないです。

なぜなのでしょう？ 学業成績と攻撃との間には、関連があるのでしょうか？ OBの皆さまと保護者の皆さまのご意見をお聞きしたいです。